



全国初「フォント」で業務改善  
～UDフォントの生産性向上を実証～

<b>取組開始時期</b>	令和2年1月	<b>取組の カテゴリー</b>	①地域活性化	<b>応募部門 (○を付ける)</b>	○	<b>PF会員間連携部門</b>		<b>一般部門</b>
---------------	--------	----------------------	--------	-------------------------	---	------------------	--	-------------

<b>1. 団体名</b>	株式会社モリサワ	<b>2. 連携先 の団体</b>	◎三重県いなべ市
---------------	----------	-----------------------	----------

<b>3. 取組 目的</b>	互いの人的・物的資源などを活用し、地方創生の推進や関係人口の創出などを旨す	<b>4. 関連する ゴール</b>	     
---------------------	---------------------------------------	------------------------	---

## 5. 取組経緯

いなべ市は、新たな地域活力の創出、地域経済の発展および市民サービスの向上を図るため、関係人口創出、観光振興、人材育成などに取り組んでおり、モリサワと互いの人的・物的資源などを活用し、地方創生の推進、関係人口の創出などを旨すための包括協定を締結し今後の取り組みを共に進める事になりました。

## 6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します

全国初「フォント」で業務改善へ  
～いなべ市がUDフォントを検証、生産性向上を実証～  
UDフォントの有益性を検証するため協定を結んでいるモリサワと協働で検証を実施。新たな効果を共に実証しました。



## 取組のポイント（3つの視点）

### 地方創生SDGsの視点

■ 伝わる情報（情報のユニバーサルデザイン化）  
ユニバーサルデザインに配慮した文字（UDフォント）の活用によって、情報を伝えるものから「伝わるもの」に変換することを支援。職員の高齢化による視力低下が見込まれることを鑑みて、有益性を検証。

### ステークホルダーとの連携

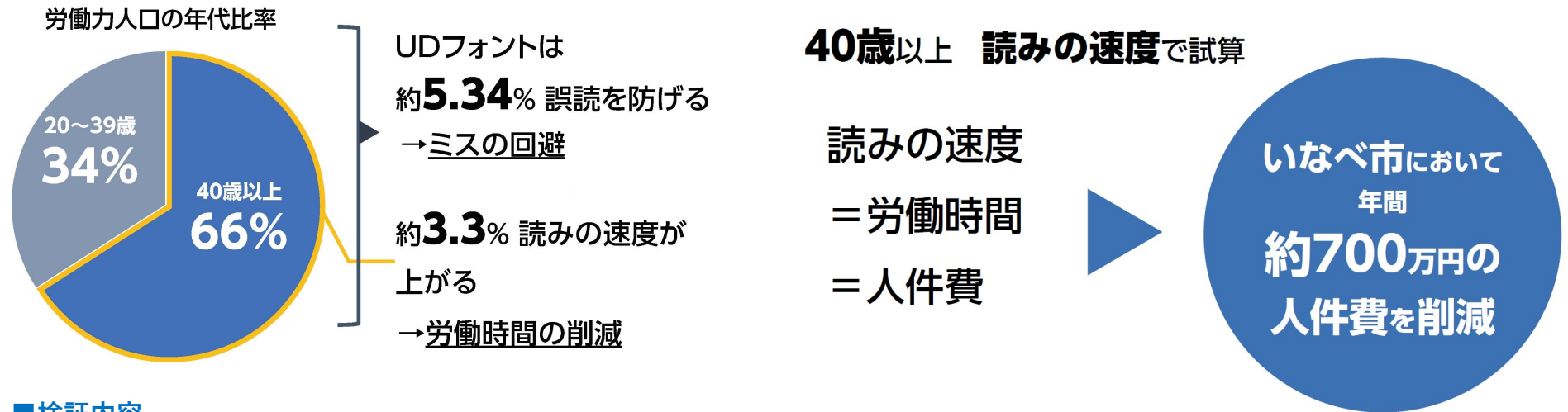
■ 市民サービスの向上および業務改善を支援

- ・自治体向けUDフォント活用研修の実施、発行物の改善を支援
- ・自治体と協働して「フォント」による業務改善について検証
- ・UDフォントの効果を学ぶワークショップに協力
- ・中学生向けプレゼンテーション資料作成能力向上の特別授業

### モデル性・波及性

■ 情報・コミュニケーションの質を向上  
国籍を問わず不特定多数への情報伝達が必要な自治体の情報発信において、「UDフォント」は見やすい文字による情報の伝わりやすさの向上に貢献できる

## 7.取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）



## ■検証内容

UDフォントと一般的なバンドルフォントの業務で利用するジャンルの文章サンプルを用意し、どちらも読み、誤読の回避と読みの速度について検証。

## ■検証結果

- ①UDフォントは全ての世代において、**誤読の回避**に効果があることがわかりました。（5.34%）
- ②UDフォントは40代以上の世代において、特に**読みの速度が上がる**ことがわかりました。（3.3%）

## ■結果①結果：誤読が減る

→見込める効果：内外への情報伝達でのミスの軽減につながり業務の効率化を図る

## ■結果②結果：読みの速度があがる

→見込める効果：労働時間の短縮、ひいてはコスト削減につながる

## ■さらなる考察

読みの速度の結果を、以下の条件で削減できるコストを算出

- ・いなべ市職員（40代以上）
  - ・年間の労働時間
  - ・平均時給
  - ・UDフォントにすることで読みの速度が3.3%早くなる
  - ・労働時間のうち2割が文章を読んでいる時間と想定する
- 年間**約700万円**分の人件費の削減につながるという試算となりました。